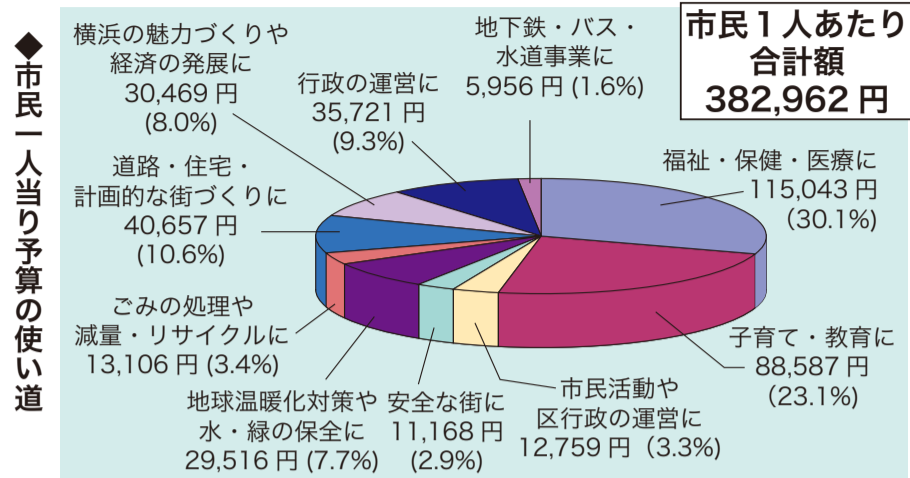


# 丸岡いつこの市議会レポート

## 生活者の視点で検証 ～2014年度横浜市予算～



**◆市民一人当たり予算の使い道**

丸岡いつこ市議は、予算の修正を求める動議にも賛同し見直しを求めましたが修正動議は否決されました。これを受け、神奈川ネットが提案してきた、子育て・介護を社会全体で応援する取組み、若者・生活困窮者の支援施策、インクルーシブ教育（\*1）や、省エネ・再エネルギー推進施策などの前進を評価し、これらの取組みをさらに進めていくために予算案に賛成しました。社会保障と税の一体改革により4月からは消費税率も引上げられています。多くの市民が、社会保障の充実・強化を実感できるように政策提案に取り組んでいきます。

**注目! 子育て支援**

保育所整備費は前年度の2倍の規模の48億85百万円です。神奈川ネットは、今後の人口減少も考慮し、フル装備の認可保育所だけでなく、必要なエリアにピンポイントで整備でき撤退戦略も描ける小規模保育にも積極的に取り組むことを提案してきました。これらの事業費として16億円が予算化されました。継続を求めている産前産後のヘルパー派遣事業予算も確保。拡充を提案したいじめや不登校、発達障害等の問題を担当する「児童支援専任教諭」が全小学校に配置されます。

2014年度の横浜市一般会計の予算規模は、1兆4182億円（前年度比1.4%増）です。一般会計の借金残高はまだまだ3兆2846万円にのぼっており、市長は予算の編成にあたって、職員の退職手当の引き下げや内部経費の徹底した見直しによって財源を確保したと述べています。そのような財政状況にありながら「2020年東京オリンピック」にむけて具体的な検討を行う」として1億円の予算も盛り込まれました。新市庁舎整備について、かねてから問題点を指摘してきた

**注目! エネルギーシフトを進める**

中小企業の省エネ・節電対策への助成事業として2億34百万円が予算化され、神奈川ネットが提案する『トクする節電II電気をカエル計画』が進んでいます。災害時の避難場所に太陽光発電設備等を設置する予算も確保。東日本大震災後、多くの意見をいただいていた提案が実現しました。

**注目! 青葉区にかかわる予算**

青葉区たまプラーザ駅北側地区まちづくりにもつなげた予算、在田西地区のコミュニティハウスの整備予算、こどもの国駅前トイレ整備事業費などが予算化されました。

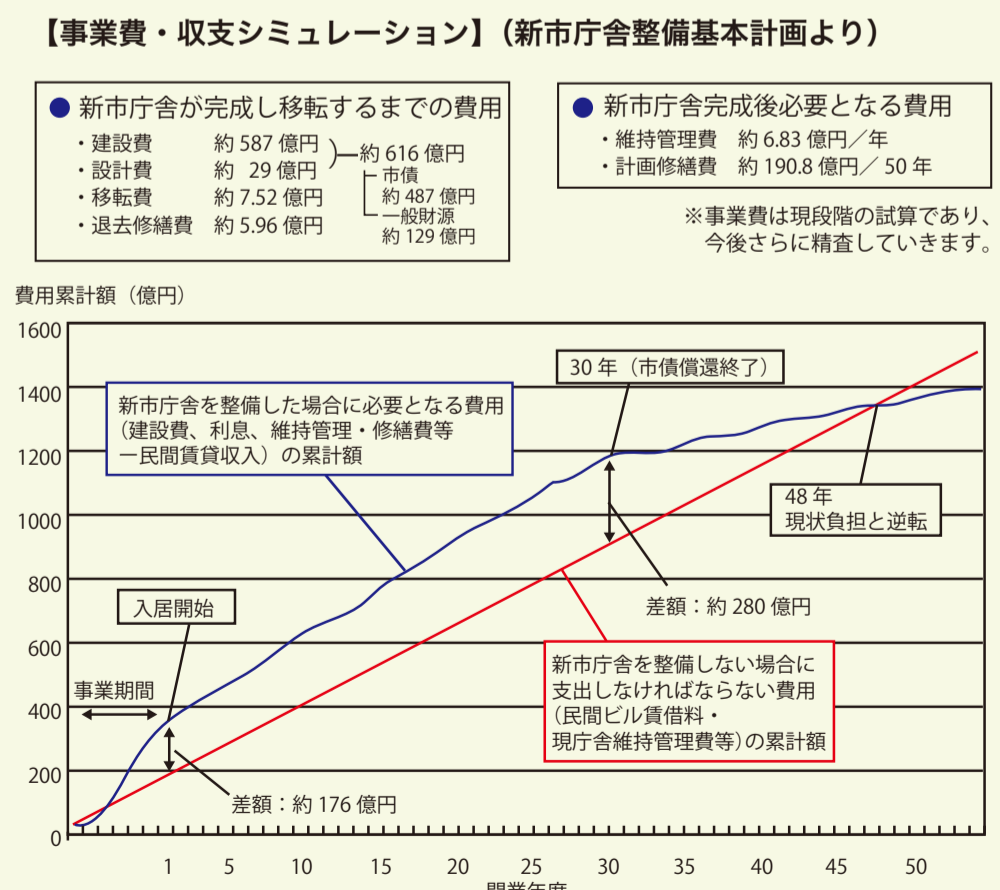
\*1「インクルーシブ教育システム」：多様性を尊重し合理的配慮のもと障がいの有無によらず共に学ぶ仕組み

**必要ですか? 新しい市役所**

「新市庁舎整備基本計画」が策定されました。

皆さんのご意見をお寄せください。

2007年、前市長が突如、URが所有する土地の購入を決定し、本格的な検討が進められてきた新市庁舎整備についての基本計画がまとめられ意見募集が始まりました。



神奈川ネットは、新市庁舎整備については、延期、または策定作業自体の凍結を含む計画の再検討を求めてきました。昨年実施された新市庁舎整備に関する市民意見募集でも、反対・否定的な意見が294名中95名と最も多く寄せられました。市は、現在の市役所の問題点として、民間ビル・市所有施設に点在・分散化しており、年間20億円を超える賃借料を負担している事をあげています。計画では、新市庁舎の建設費の総支出額は約1300億円となり、新市庁舎を整備しない場合の負担と逆転するのは、事業開始から54年（開業から48年）にあたる2059年と見込んでいます。50年後の横浜の人口は、280万人から320万人程度と推計され、高齢化率も35%を超えると見られています。税収は減少し、医療・介護・措置費は上昇します。皆さんは、どう考えられますか。ぜひ、ご意見をお聞かせ下さい。

新市庁舎整備基本計画概要版の配布先  
各区役所広報相談係、市民情報センター（市庁舎1階）、  
行政サービスコーナー、図書館、地区センター、コミュニティハウス  
市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>) からダウンロード可能

- 新市庁舎整備の基本理念**
- 的確な情報や行政サービスを提供し、豊かな市民力を活かす開かれた市庁舎
  - 市民に永く愛され、国際都市よこはまにふさわしい、ホスピタリティあふれる市庁舎
  - 様々な危機に対処できる、危機管理の中心的役割を果たす市庁舎
  - 環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎
  - 財政負担の軽減や将来の変化への柔軟な対応を図り、超期間有効に使い続けられる市庁舎